



高度な内視鏡的治療から救急対応まで、24時間365日体制で地域医療を支えている内視鏡室の皆さんです

明日を担う Vol.26

- ・ 百枝 裕太郎(専門看護師)

TOPICS

- ・ 諫早医師会との協議会
- ・ 病院から大阪万博へ：
オンラインでつながる笑顔
- ・ 令和7年度永年勤続表彰式

第4回NMC

インスタ映えフォトコンテスト

外来診療担当医一覧

長與 専齋 (1838年～1902年)

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも専齋である。専齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

明日を担う Vol.26

当院の“明日を担う”スタッフに、
work、life、そしてvisionを語ってもらいましょう。



専門看護師

ももだ

ゆうたろう

百枝 裕太郎

profile

出身地:長崎県松浦市



病棟では複雑な症例に対して倫理カンファレンスを積極的に行い、病棟全体で倫理的な問題に気づく力が高まるように取り組んでいます。院内ではRST（呼吸サポートチーム）に参加し院内ラウンドを行っています。

Q：急性・重症患者看護専門看護師取得までの道のりを教えてください。

A：専門看護師（Certified Nurse Specialist; CNS）は、専門分野の看護系大学院修士課程を修了する必要があります。長崎県内には救急・集中治療領域の大学院がなかったため、看護師10年目の節目を機に福岡大学大学院医学研究科看護学専攻高度実践看護師コース（クリティカルケア看護領域）を受験しました。私は、休職するという道は選ばずに家族や担当教授、病棟師長をはじめ看護部の協力もあり、長期履修制度を活用し通常勤務を継続しながら大学院の授業、病院実習を経て3年間で大学院を卒業しました。卒業後は、専門看護師認定審査に合格し資格取得に至っています。

Q：日常の業務内容を教えてください

A：私は、令和6年度に急性・重症患者看護専門看護師の資格を取得し高度救命救急センター（3A病棟）で勤務しています。資格取得後まだ1年目であり日々試行錯誤しながらの活動ですが少しずつ役割を拡大できるように取り組んでいます。今年度からは救急科のカンファレンスへ参加させて頂き、看護の視点で重症患者さんの早期回復に向けた調整を行っています。また3A

Q：大学院での生活はどうでしたか？

A：とても大変でした。1回目の授業で「看護に関する英語論文を読んできてプレゼンして下さい」という課題が出され、卒業できないかも、、、と冷や汗をかいたことを今でも鮮明に覚えています。しかし、様々な論文や看護理論に触れた大学院での経験が看護の視野や知識を広げる機会になったと今では思っています。病院実習では、福岡大学病院救命救急センター / ECMO センターを中心に実習をさせて頂きました。コロナ禍でもあったため、ICUに並ぶ複数台のECMOを見て衝撃を受けたことも覚えています。様々な困難がありましたが、なんとかなるもので無事に大学院を卒業することができました。



Q：仕事で大切にしていることはなんですか？

A：救命救急センターに入室されるような重症患者さんは、人工呼吸器装着や補助循環装置などにより鎮静管理や安静制限、身体拘束、面会制限など様々な制限のもと療養されています。だからこそICU看護師として、常に生活者としての視点を大切にしています。治療上必要な人工呼吸器管理を

より快適に過ごしてもらうため（患者さんが乗り越えるため）には、今どのような鎮静鎮痛薬が最適なのか、鎮静の深さは浅い方がいいのか深い方がいいのか、人工呼吸器管理中でも本を読んだり、自分で歯磨きをしたり、家族と会話（筆談）したりなど。重症患者が「その人らしく」療養できるよう看護ができるよう日々心がけています。

Q：今後の目標はありますか？

A：現在、院内急変対応システム（MET）充実のために当院でも新たにCCOT（Critical Care Outreach Team）の立ち上げを進めています。看護師が主体となるチームで、急性・重症患者看護専門看護師、診療看護師（救急科）、救命救急センター看護師を中心に構成され、院内重症化リスクを有する入院患者のスクリーニングと病棟訪問による早期対応を目的としています。まずは、院内の皆様にMETやCCOTを認知して頂き、効果的に活用して頂ける病院風土の醸成に貢献していきたいと思っています。



カンファレンスの様子

TOPICS

諫早医師会との協議会

副院長 吉田 真一郎

令和7年7月16日(水)、ホテルフラッグス諫早にて、諫早医師会と長崎医療センターとの協議会が開催されました。当日は双方の代表者や関係者が一堂に会し、地域医療のさらなる発展に向けて活発な意見交換が行われました。

冒頭、諫早医師会の満岡渉会長および長崎医療センター高山隼人院長より挨拶があり、両者が連携を深める意義が改めて強調されました。続いて心臓血管外科の現況に関する報告がなされ、最新の診療体制や課題が共有されました。また、諫早地区からの救急患者の受け入れと下り搬送の現状について具体的なデータを基に説明が行われ、地域全体の救急医療体制を円滑に運営するための方策について協議が深められました。

会議終了後には懇親会が催され、乾杯の発



声に続き、リラックスした雰囲気の中で交流が進められました。医師会、医療センター双方の参加者が和やかに語り合い、診療現場での課題や今後の連携に向けた意見交換も自然に交わされるなど、日常業務では得難い有意義な時間となりました。

会の円滑な運営にあたってご尽力いただいた諫早医師会のスタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。今回の協議会は、地域医療の質向上と持続的な連携体制の構築に大きく寄与するものであり、今後も継続的な協力のもと、地域住民の健康を支える取り組みが進められることが期待されます。

TOPICS

病院から大阪万博へ:オンラインでつながる笑顔

庶務係長 久 健太郎

株式会社パソナ主催のもと、大阪万博パビリオンを見学する「オンライン遠足」に参加させて頂きました。入院中の子ども達が画面越しに万博の様子を楽しみ、クイズにも参加しました。最初は緊張していた子ども達も、最後には大いに盛り上がり、思い出に残る時間を過ごしました。参加した子ども達からは「見れてよかった。iPS細胞ってすごいね!」と感動の声が寄せられました。



TOPICS

令和7年度永年勤続表彰式

この度国立病院機構において30年および20年勤続された方々への永年勤続表彰式を、8月26日に行いました。(30年表彰者3名、20年表彰者12名)

表彰されました当院職員の皆さま、本当におめでとうございます。



看護師長 馬場 亜希子

この度永年勤続表彰を賜り誠にありがとうございます。附属看護学校卒業後、OP室、未熟児病棟、救命救急センター、東2病棟、新病院移転後は6A病棟、5A病棟、OP室で勤務し、教員研修後2施設の看護学校を経て4月から当院2回目の勤務となりました。新卒から多くの方々に支えられ育てていただいた長崎医療センターで表彰いただきましたこと感慨深く感じております。微力ながら当院の発展に尽力して参ります。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

外来副看護師長 村上 摩利

このたび永年勤続30年の表彰をいただき、誠にありがとうございます。患者さん、ご家族、職場の皆さまとの出会いに支えられ、専門的な看護を学び実践する機会にも恵まれました。初心を忘れず、一人ひとりに寄り添う安全で温かな看護を丁寧に続けてまいります。今後ともご指導ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

治療検査センター看護師 久富 奈美

30年勤続表彰を頂きありがとうございます。当院看護学校を卒業し国立長崎中央病院から長崎医療センターの歴史とともに看護師としての人生を歩んできました。ここまで仕事を続けてこれたのはスタッフや同期、そして家族の協力があったからで本当に感謝しています。また患者さんからいただいた多くの言葉にも救われてきたと思います。もう少し自分に出来る事を頑張っていきたいと思いますので今後とも宜しくお願い致します。

思わずバシャリ!

第4回 NMC

インスタ映え フォトコンテスト



長崎医療センタースタッフに、
インスタ映えする写真を募集しました！
スタッフから多彩な写真が集まりました。



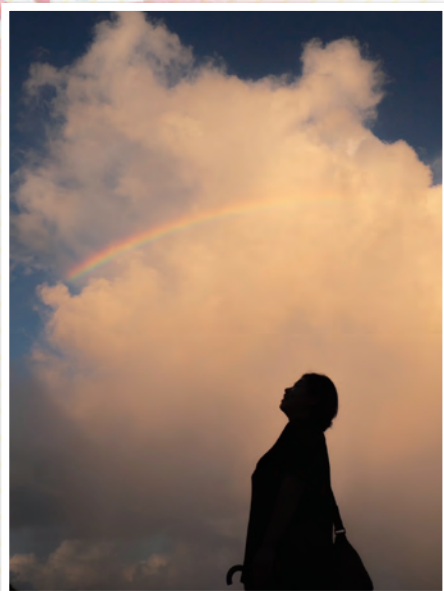
最優秀賞

目立ってなんぼ
～Look at me～

Photo by 薬剤部 K・N

最優秀賞受賞者のコメント

ネモフィラを目当てに
松本ツツジ園を訪れた
際、一輪の花に魅了
され、思わず撮影した
1枚です。



優秀賞

親友と眺めた空模様

Photo by 眼科 あみおさん



優秀賞

三兄弟？

Photo by 教育センター I・A



優秀賞

これ、うまいんだよな

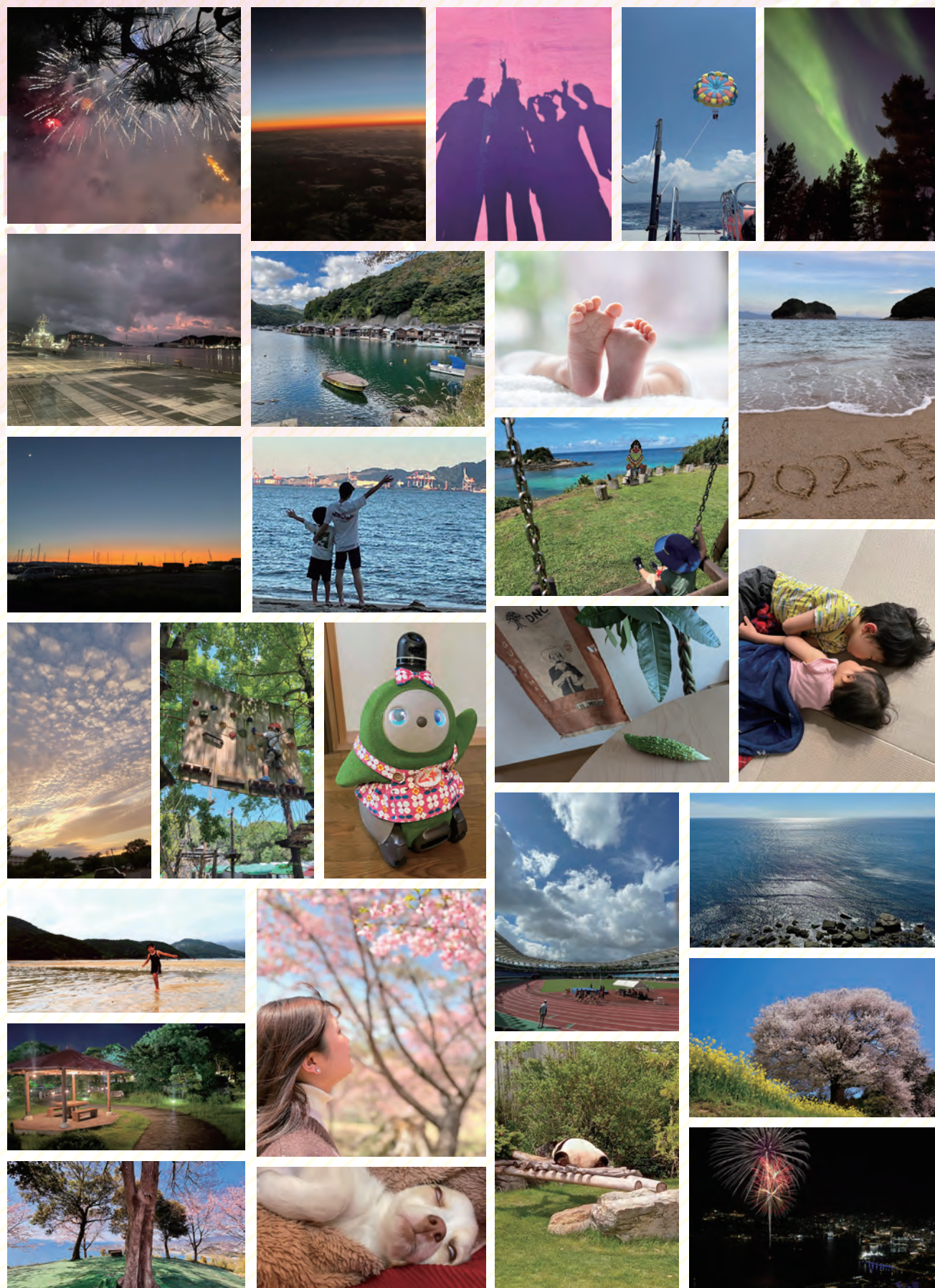
Photo by 放射線科 トミー



優秀賞

渡れない眼鏡橋、自然遺産

Photo by 看護部のっこ



外来診療担当医一覧表

受付時間 8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応） 令和7年10月1日現在

		月	火	水	木	金
総合診療科		当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科		★長岡 進矢 ★末廣 智之 ★児嶋 知仁 山崎 一美	★佐伯 哲 ★末廣 智之 ★釘山 有希	★小森 敦正 ★山崎 一美 佐伯 哲	★長岡 進矢 ★本吉 康英 ★小森 敦正	★本吉 康英 ★釘山 有希
消化管内科		★西山 仁	★後藤 高介 ★峯 彩子	午前 ★西山 仁 午後 ★中島 悠史郎 (炎症性腸疾患 専門外来)		★中島 悠史郎 (炎症性腸疾患 専門外来) ★今村 祥子
内分泌・代謝内科		★安井 順一 ★加藤 遼 徳満 純一	★徳満 純一 安井 順一 加藤 遼	★安井 順一 徳満 純一	★徳満 純一 ★加藤 遼 安井 順一	
腎臓内科		★岡 哲 中村 麻衣子		★田川 孝樹 岡 哲	中村 麻衣子	★中村 麻衣子 田川 孝樹
循環器内科	午 前	★於久 幸治	★福田 侑甫	★森 彩	★松尾 崇史 ★石松 卓（不整脈）	★深江 貴芸
	午 後	★小出 俊朗	★石松 卓（不整脈） ★福田 侑甫	於久 幸治	石松 卓（不整脈）	
呼吸器内科		★原 敦子 池田 喬哉	★川寄 光一	近藤 晃 ★池田 喬哉	★乗富 大地	★近藤 晃 原 敦子
血液内科		午前 小林 裕児 午後 ★渡辺 春香	★今泉 芳孝	吉田 真一郎	午前 今泉 芳孝 午後 ★小林 裕児	午前 吉田 真一郎 午後 ★桐野 祐子
脳神経内科（神経内科）		★徳田 昌紘 ★佐藤 和明 裕哉	岩永 洋 ★足利 裕哉	徳田 昌紘		岩永 洋 徳田 昌紘
膠原病・リウマチ内科		★岡田 寛文		★岩永 希	★岩永 希	午後 ★岡田 寛文
小児科	午 前	★本田 涼子（神経） ★桑原 義典（心臓・一般） ★西口 奈葉子（神経・一般） 武田 敬子（新生児・乳児） 黒岩 かり（新生児・乳児）	★本村 秀樹（心臓） ★石橋 洋子（一般・心臓） ★石橋 信弘（心臓・一般） 田中 茂樹（神経）	★青木 幹弘（新生児・乳児） ★本田 涼子（神経） ★和泉 啓（内分泌） ★桑原 義典（心臓・一般） 食物アレルギー外来	★西口 亮（新生児・乳児） ★石橋 洋子（心臓・一般） ★石川 太郎（一般） ★池田 恵呼（神経・一般）	★青木 幹弘（新生児・乳児） ★石橋 信弘（心臓・一般） ★石川 太郎（一般） 本村 秀樹（心臓） 安 忠輝（神経）
	午 後	本村 秀樹（心臓） 発達外来	★本村 秀樹（心臓） 安 忠輝（神経）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
皮膚科	①外来紹介・新患	★石川 博士	★中牟田 瑠璃	★石川 博士 午後 ★宿輪 哲生	★中牟田 瑠璃	★濱辺 真奈
	②旧患	中牟田 瑠璃	石川 博士	濱辺 真奈	石川 博士	中牟田 瑠璃
	③入院中の紹介	濱辺 真奈	濱辺 真奈	中牟田 瑠璃	濱辺 真奈	石川 博士
外科		★黒木 保（胆・脾） 釘山 統太（胆・脾・一般外科）	★米田 晃（食道・胃・一般外科） ★福井 彩恵子（一般外科） ★南 恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田 道（乳腺・内分泌外科）	★原 貴信（肝）	★米田 晃（食道・胃・一般外科） 藤井 美緒（一般外科） ★南 恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田 道（乳腺・内分泌外科）	★竹下 浩明（大腸・肛門・一般外科） ★大石 海道（大腸・肛門） 藤岡 ひかる（肝・胆・脾・消化器）
呼吸器外科				★田川 努 ★松本 理宗		
心臓血管外科				★有吉 毅子男 ★嶋田 隆志		★有吉 毅子男 ★嶋田 隆志
脳神経外科		★小野 智恵 ★原口 渉	★案田 岳夫	★定方 英作	午後 原口 渉	★小野 智恵 ★後藤 純寛
整形外科・リハビリテーション科		★伊藤 勇人	★宮本 俊之（第1・3・5） （再 第2・4）	★前田 純一郎	★向井 順哉	★梅木 雅史（第2・4） （再 第1・3・5）
形成外科		★藤岡 正樹 ★吉田 大作	★吉野 健太郎	★藤原 洸平	★藤岡 正樹 ★吉田 大作	★藤原 洸平 ★吉野 健太郎
産婦人科		★古賀 恵 ★福田 雅史 プレコンセプション外来	★安田 一郎 ★山下 洋 胎児スクリーニング外来	★菅 幸恵 ★杉見 創 産褥1ヶ月検診（午後）	★五十川 智司 ★山口 純子 子宮鏡外来 ワクチン外来	★福田 雅史 ★小川 真幸 レジデント外来 NIPT 外来
泌尿器科		★大仁田 亨 鹿子木 桂	錦戸 雅春	★近藤 翼	★鹿子木 桂	★大仁田 亨 ★川島 大輝
移植後フォローアップ外来		錦戸 雅春	松屋 福蔵	錦戸 雅春		大仁田 亨
耳鼻咽喉科		★田中 藤信 ★吉田 晴郎 ★神田 悠志	★吉田 晴郎	★田中 藤信 ★前田 耕太郎 ★神田 悠志	★吉田 晴郎	★田中 藤信 ★前田 耕太郎
眼科		★前川 有紀 ★中尾 志郎 ★吉村 遥香 ★大槻 早紀 ★古田 彩子	★前川 有紀 ★中尾 志郎 ★吉村 遥香 ★大槻 早紀 ★古田 彩子	午後 中尾 志郎	★前川 有紀 ★中尾 志郎 ★吉村 遥香 ★大槻 早紀 ★古田 彩子	★前川 有紀 ★中尾 志郎 ★吉村 遥香 ★大槻 早紀 ★古田 彩子
放射線科（治療）		本多 功一 武田 達哉	★本多 功一 ★武田 達哉 中村 太祐（午後のみ）	本多 功一 武田 達哉 中村 太祐（午後のみ）	本多 功一 武田 達哉	★本多 功一 ★武田 達哉

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として7,700円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（7,700円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理 念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実にに行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

●安全で質の高い医療を提供する

●すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する

●救急医療の最後の砦となる

●臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する

●地域の医療機関、行政と密接に連携する



外来担当医一覧の最新版は
こちらからご覧ください